

四
造
物
趣
向
種

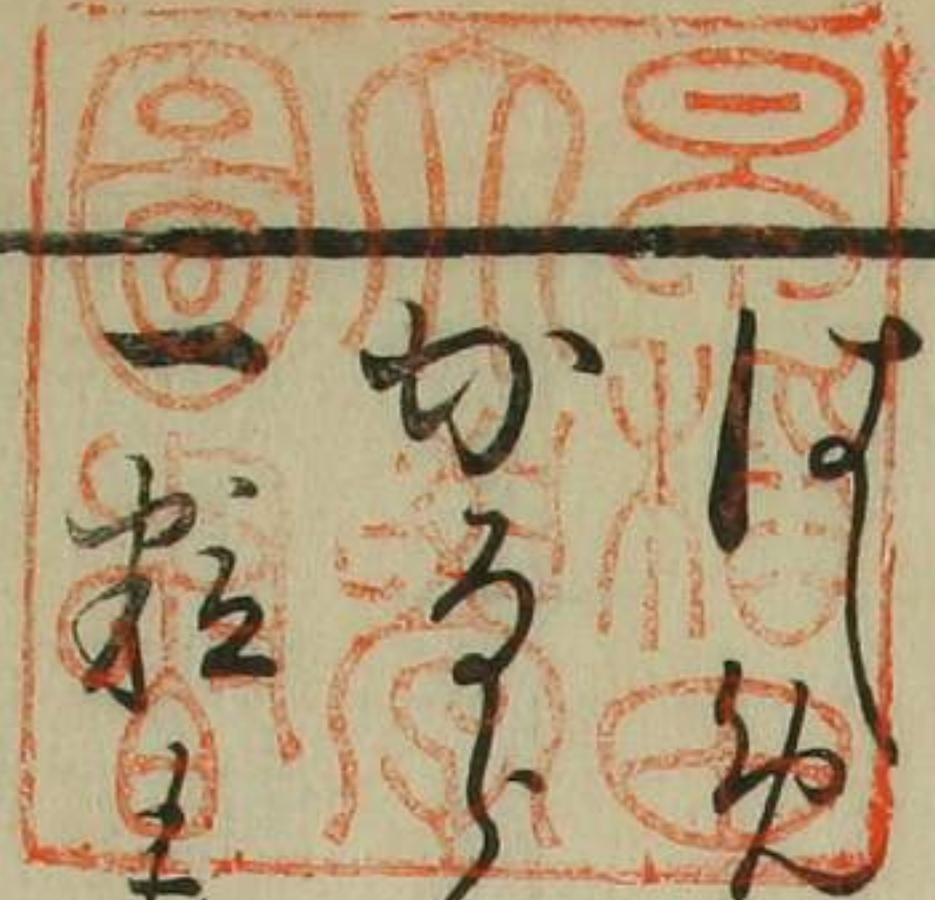
乾

79
22
1



門 7 22
22
卷 1

吉野川より舟上りたつた舟は
お茶の下の舟より舟上りたつた舟は
けりて舟上りたつた舟は
かろん大船は舟上りたつた舟は
一粒も舟上りたつた舟は
舟上りたつた舟は
舟上りたつた舟は
舟上りたつた舟は
舟上りたつた舟は
舟上りたつた舟は



吉野川

舟上り

しんくわたりあはれなむもじの楠公
其業をもん人の形は化るといふ然るを
鏡像をもとのお月遠月六六軍と
うのかいもらなむもむ水あくとる
りよへあつちの島にや遊の二二昔におと
夢あつちの島に花をらん替る層を
二七とんまの馬舟の物にふちを
男作の名をとらむもむあつちの島

かけやくもこの世に諸社の遺子終年
其の色はるあるの所持成と地花
そのはあがむ作おとすはあふあ
とらとむあふああふのなるとに何と
実あつちにして人をあつちの物
とらとむあふああふああふと十日
乃河あの下に枕張あつちの
風流とあふああつちの

法

停

子みれはそとてふみよ佳作にむ
 以て次之れを寶の山よ入て之を以て得る
 祭もいとやまもてに四海浪静なり
 しそ人もまはりて田畑の清くお五土穀
 成然天下泰なり世の力もつるも
 うもてて去る向種もて川もるに
 あり

河女はり
 ハとせは復

鬼拉真カ丸

作物趣向種初編

目録

- | | | | |
|------|-------|--------|--------|
| ○ 鶴 | ○ 三番叟 | ○ 神功皇后 | ○ 大黒天 |
| ○ 象 | ○ 鶴 | ○ 水豹 | ○ 猿島歌討 |
| ○ 笙 | ○ 我 | ○ 鎧 | ○ 鸞輿太鼓 |
| ○ 螳螂 | ○ 還城樂 | ○ 蜘蛛切丸 | ○ 雪中鳥 |
| ○ 釣狐 | ○ 硯箱 | ○ 御幣 | ○ 龍竹 |
| | ○ 僧正坊 | | |

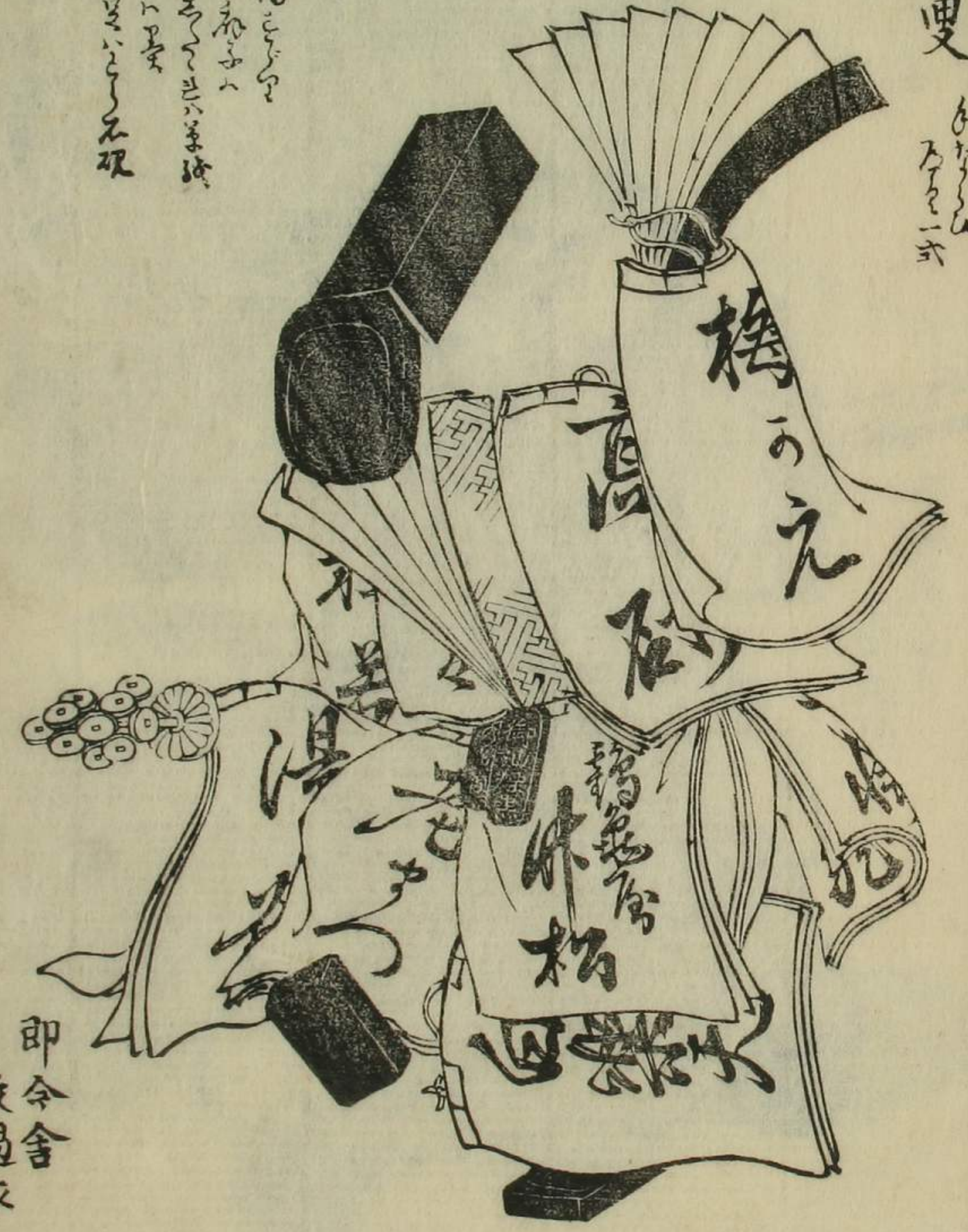
...

...

- 鯛うなぎ
- 孟宗もうそう
- 冠かんむり
- 羽衣てんてん
- 鬼念佛おにのねんぶつ
- 化粧禪けいせいぜん
- 苗様七箇の傳なむさましちかんのでん
- 惠美須えいびす
- ざぼり
- 薄蝶うすてふ
- 牡若むしか
- 石燈籠いしとうろう
- 鉢植藤はちうゑとう
- 如來尊像にょらいそんざう
- 就鳥しゅうちう
- 唐崎孤松たうきこしゆう
- 蝶てふ

作物趣向種初編目錄終

三番叟さんばんそう もろこし
ろくろ一式



而ハ字修なほハ字修
鳥帽とりぼうし
おんおんおんおん
下ヤ帯したやおび
冷ハ水入ひやハ水入

即今舎
放過作

大黒天 鑄の一式

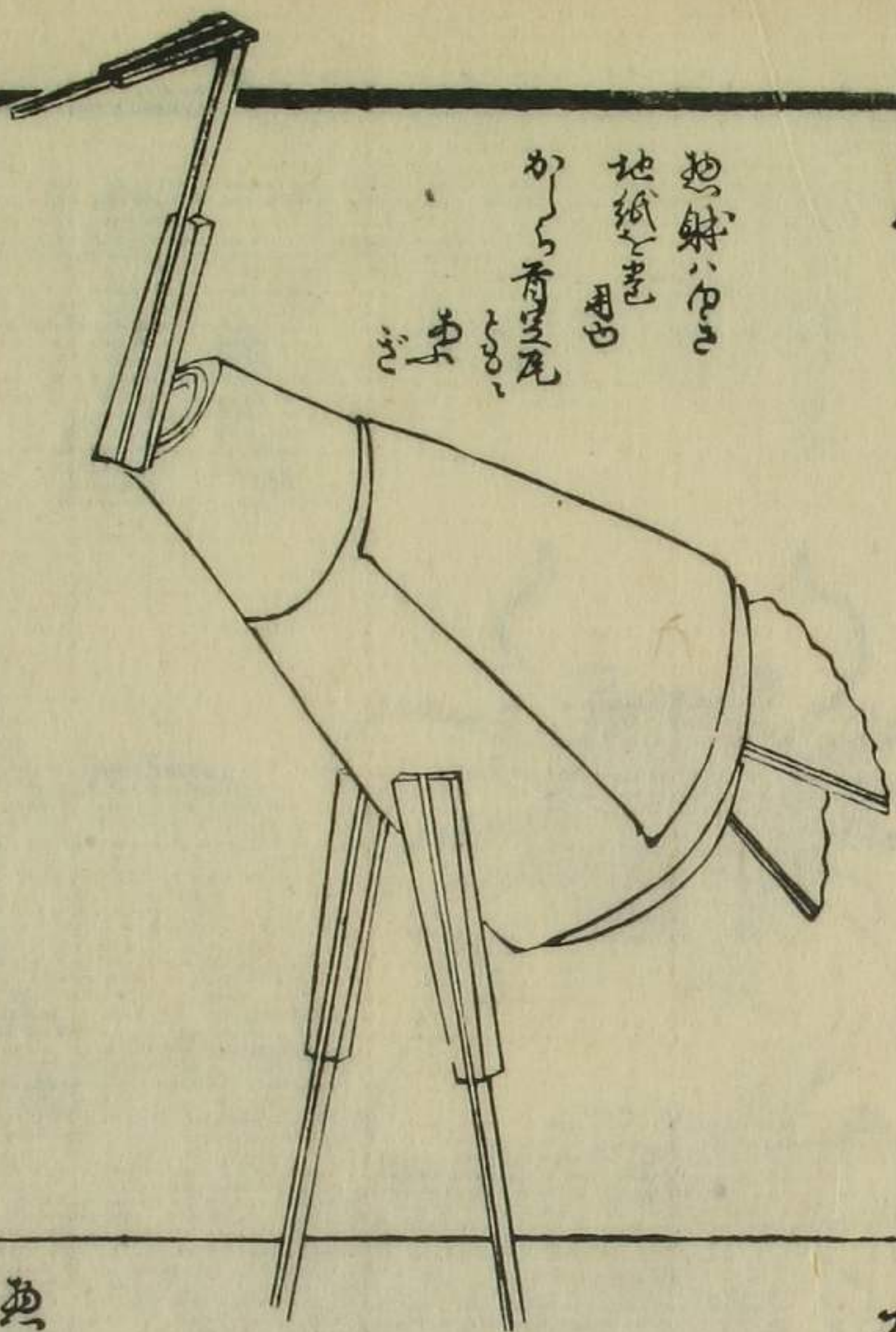
大黒天の鑄物一式
 大黒天の鑄物一式
 大黒天の鑄物一式
 大黒天の鑄物一式
 大黒天の鑄物一式
 大黒天の鑄物一式
 大黒天の鑄物一式
 大黒天の鑄物一式
 大黒天の鑄物一式
 大黒天の鑄物一式



集切亭
 文雅作

鶴

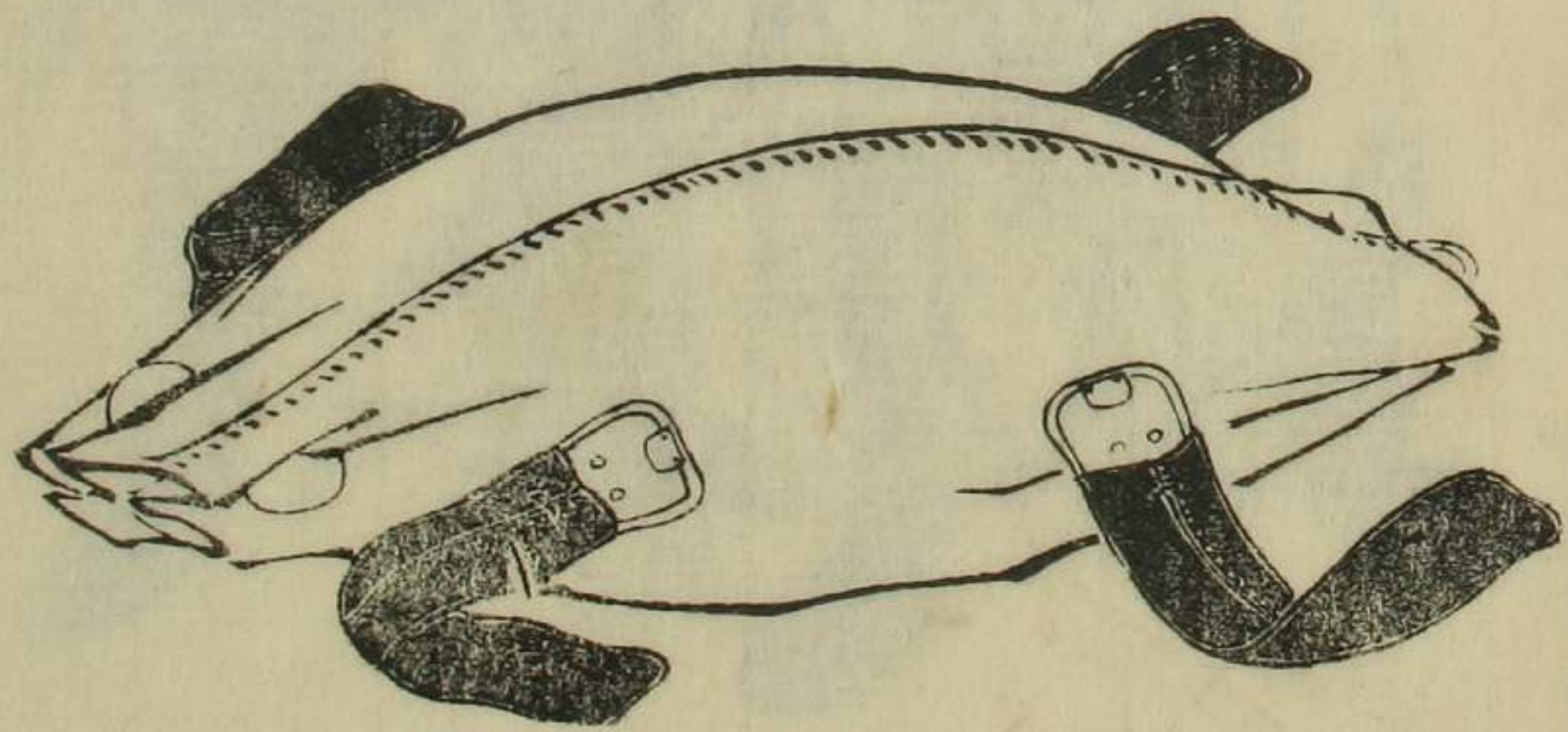
鶴の鑄物一式
 鶴の鑄物一式
 鶴の鑄物一式
 鶴の鑄物一式
 鶴の鑄物一式
 鶴の鑄物一式
 鶴の鑄物一式
 鶴の鑄物一式
 鶴の鑄物一式
 鶴の鑄物一式



田扇亭
 いせ丸作

水豹

水豹の鑄物一式
 水豹の鑄物一式
 水豹の鑄物一式
 水豹の鑄物一式
 水豹の鑄物一式
 水豹の鑄物一式
 水豹の鑄物一式
 水豹の鑄物一式
 水豹の鑄物一式
 水豹の鑄物一式

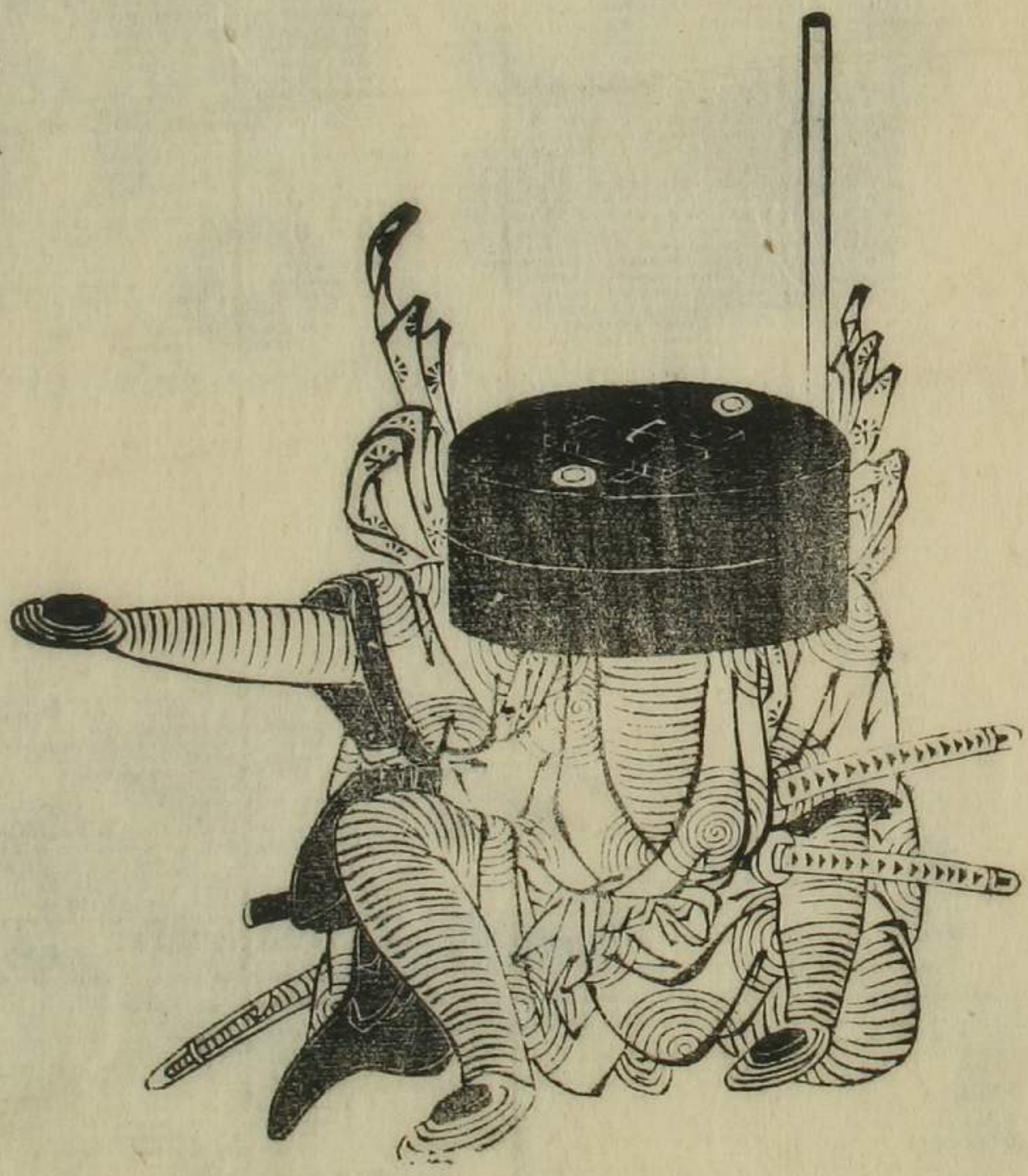


二田カ
 米丸作

桃

解只桃灯の
用は桃灯の
くらの形
桃灯の袋
引紙箱
桃灯
通ひハ
桃灯の袋
綱の
と

丹羽桃溪作



猿島敵討

桃灯
一丈



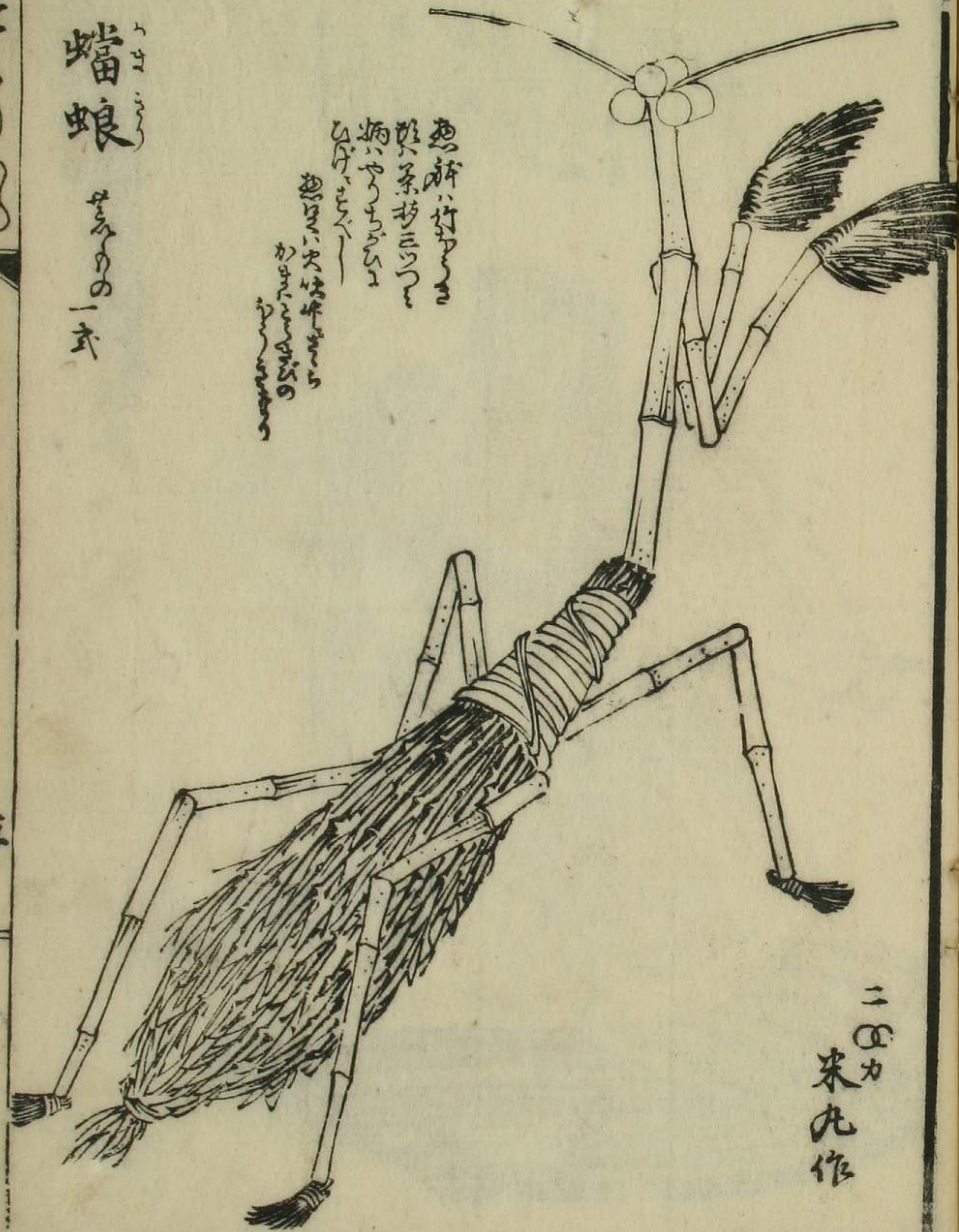
桃

桃

蠅

蠅の一式

蠅の一式
蠅の一式
蠅の一式



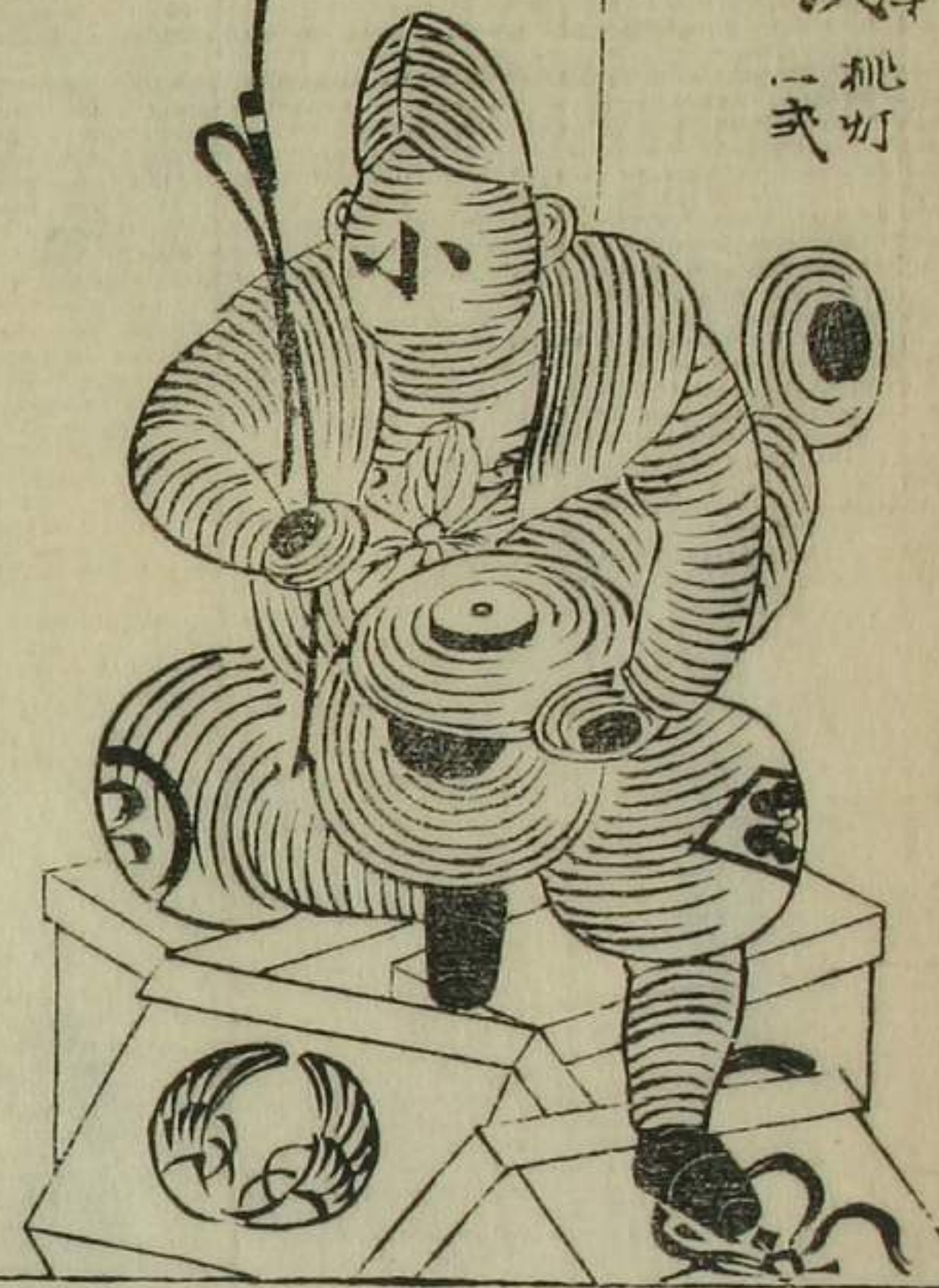
二〇カ
朱丸作

鏡

三味線乃を
一式

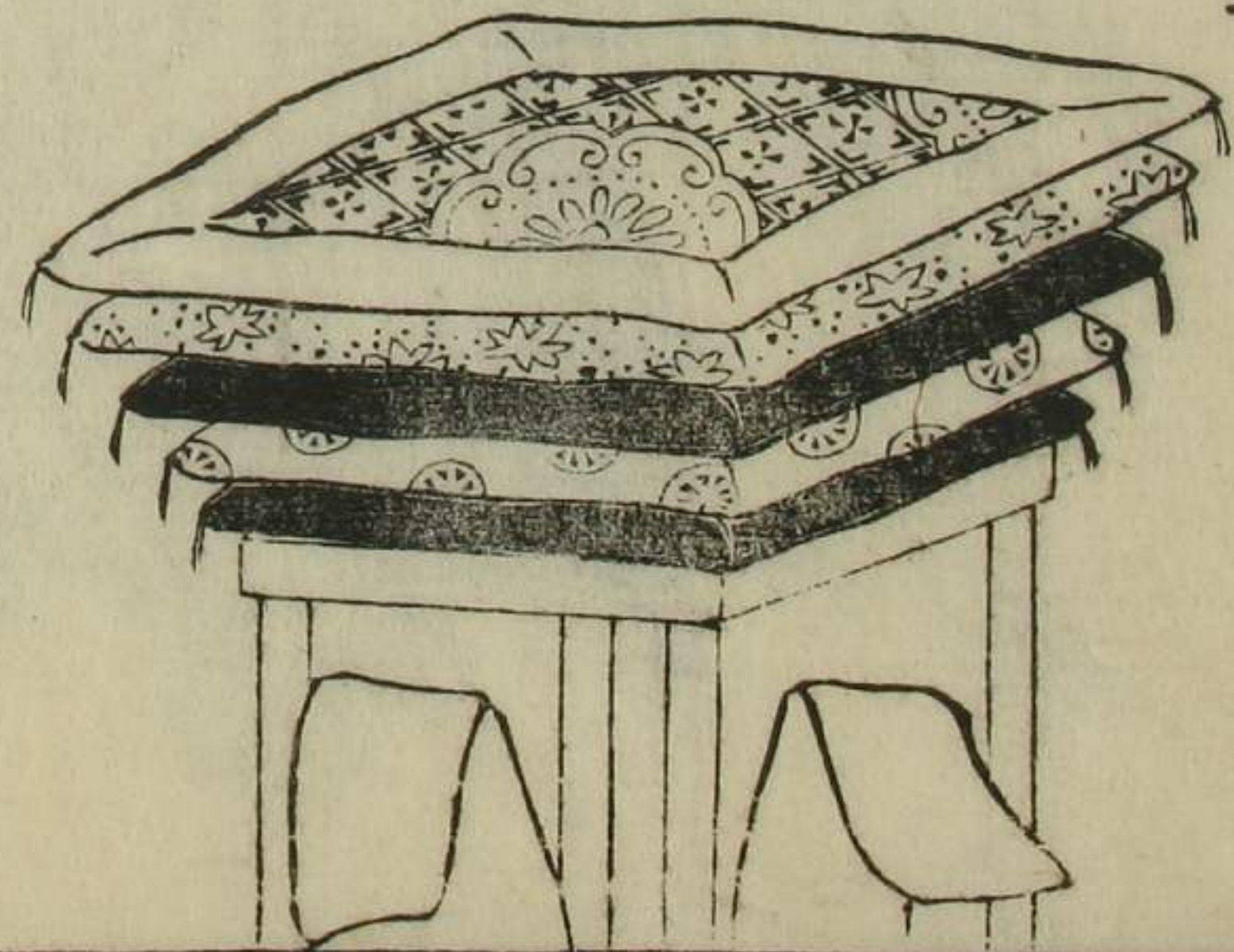


戒
一式



鸞輿大鼓

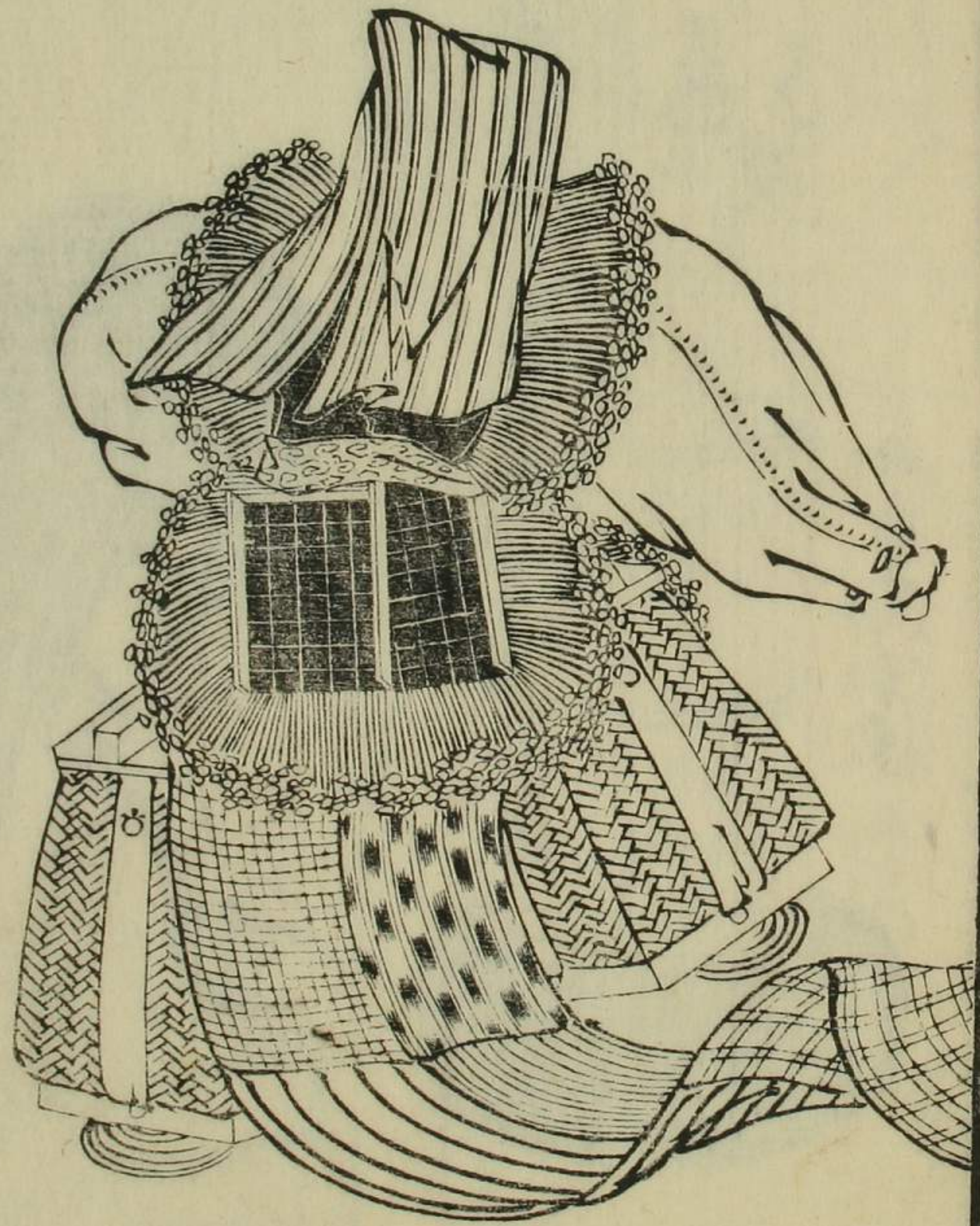
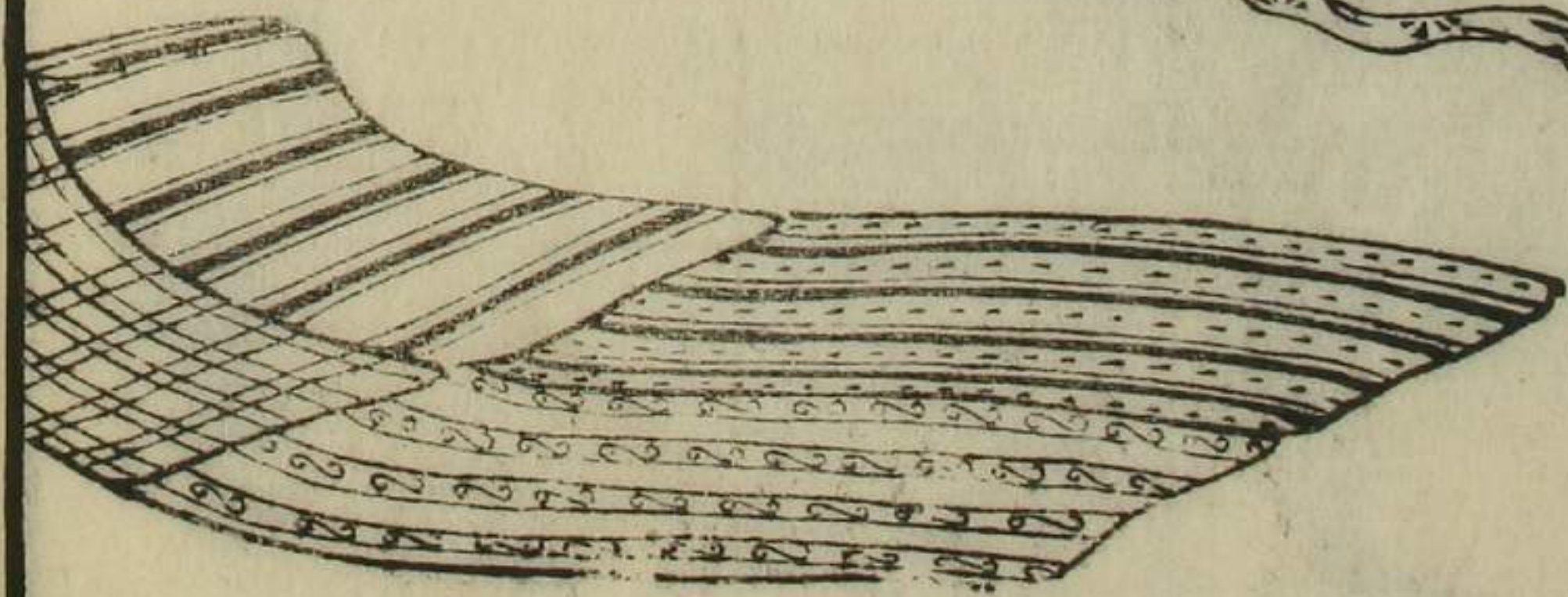
鸞輿大鼓
鸞輿大鼓
鸞輿大鼓



鬼柱亭
力此作

けんしやうらく
還城樂 表指居
 乃中一氏

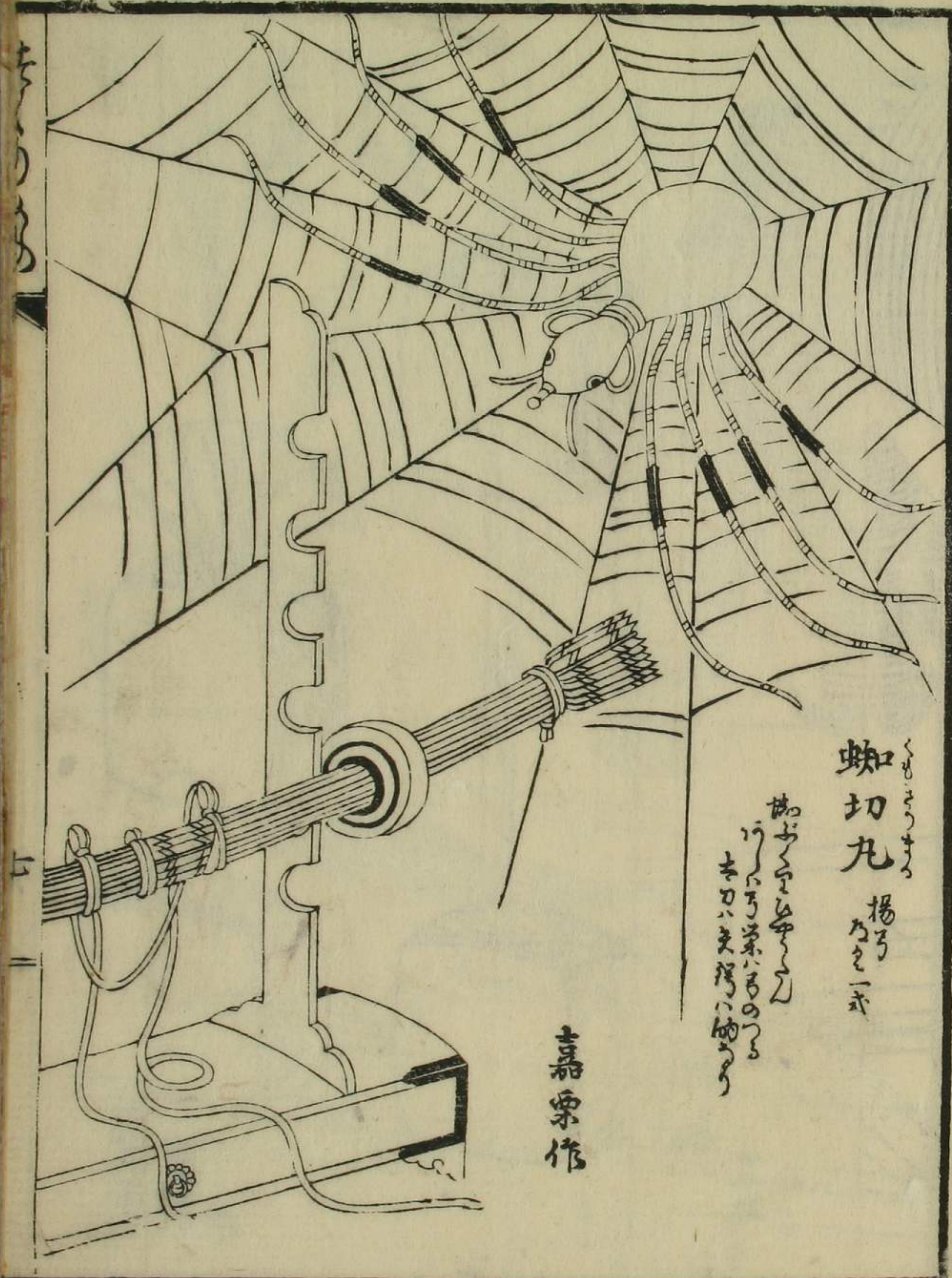
面帽子ハ
 大ざつ
 打とせとて木の
 ちり紙
 ひらひら
 皮ざつ
 裾ハ大ざつハ
 ちり紙
 ぬすハ紙
 ちり紙
 ちり紙



丹羽桃溪作

左
 右

六

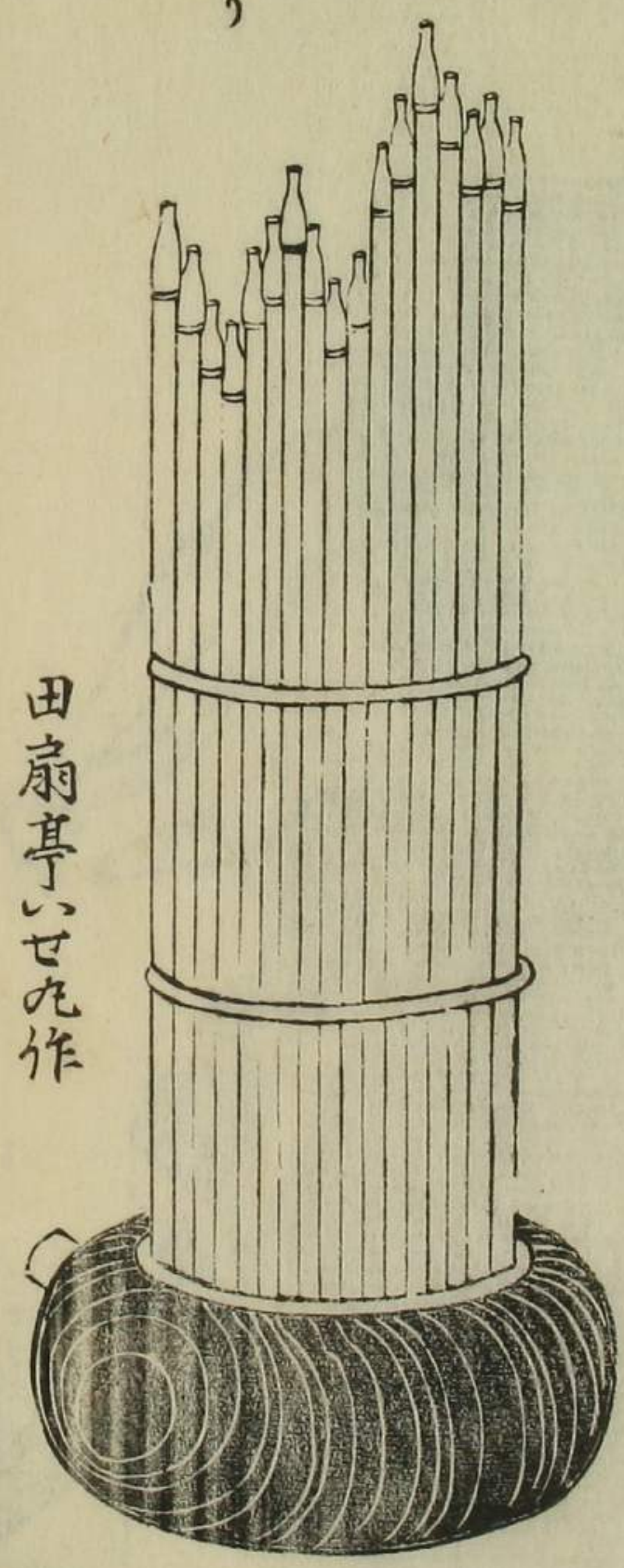


蜘蛛切丸 揚子
蜘蛛切丸 揚子
 揚子 乃之一式
 揚子 乃之一式
 揚子 乃之一式

嘉樂作

竹生
たけい
 なる
 なる
 なる

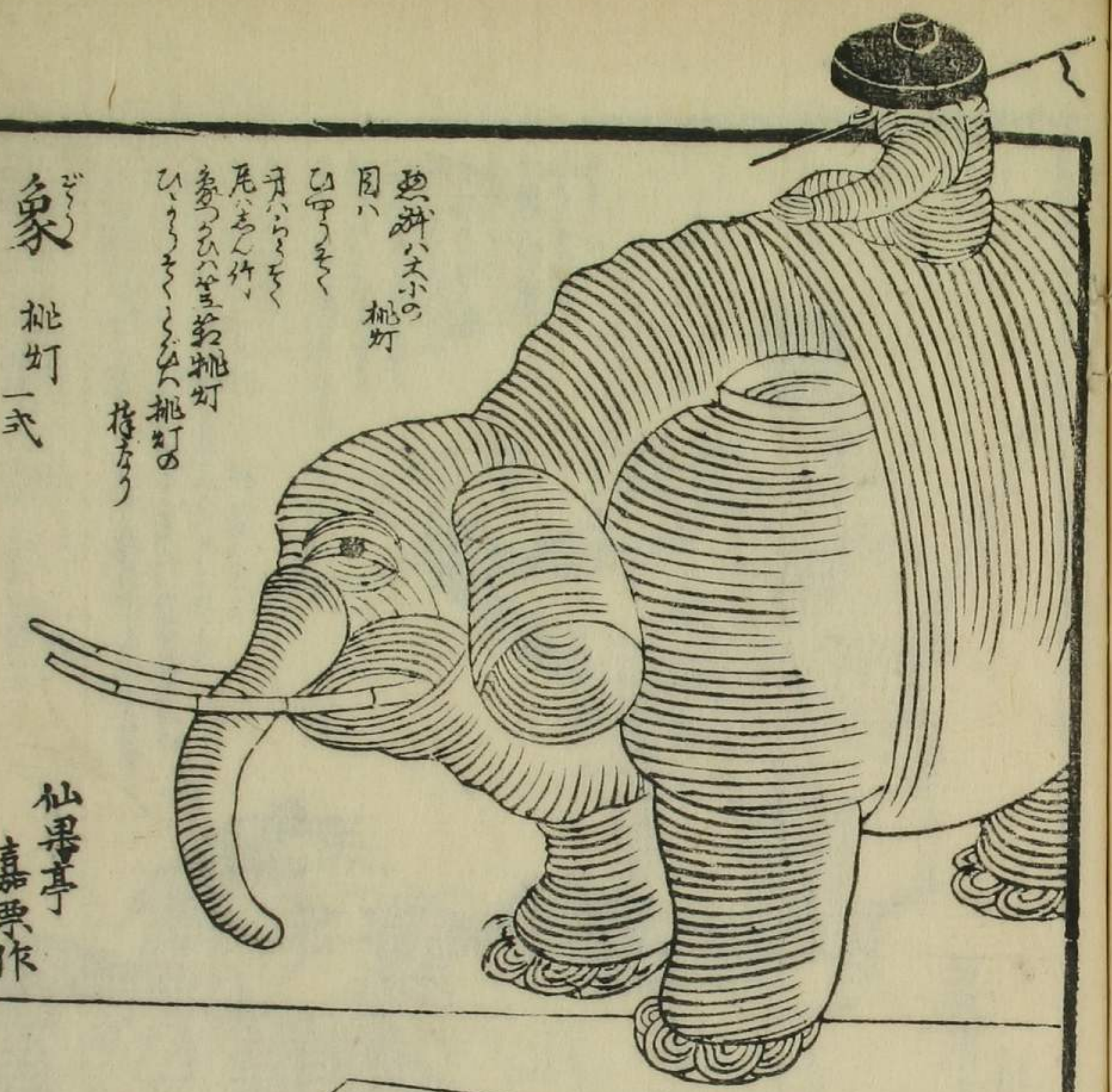
田扇亭いせ丸作



雪中之鳥
鳥
 雪中
 鳥
 雪中
 鳥

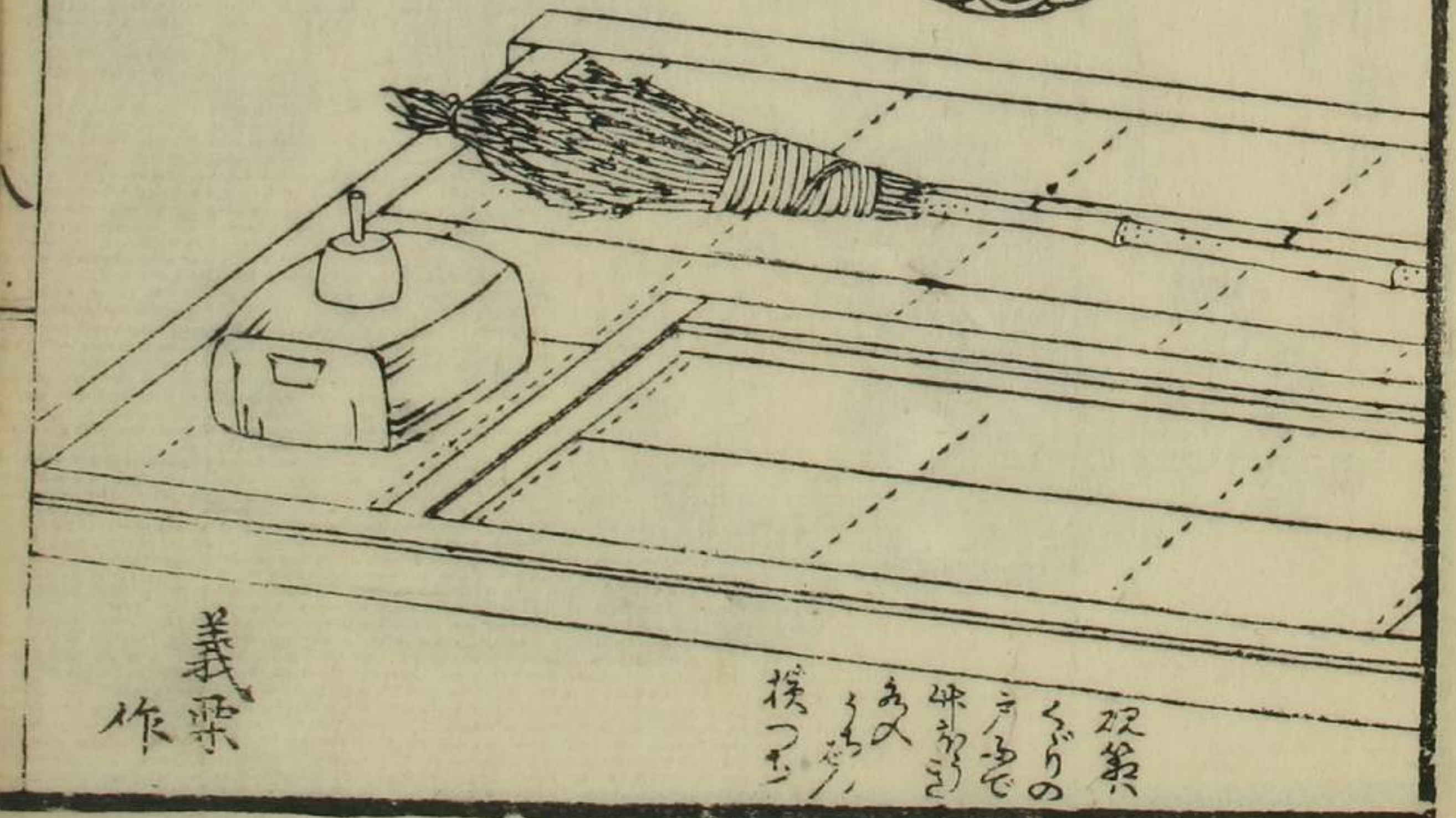


象 桃灯一式
まほうりかみ



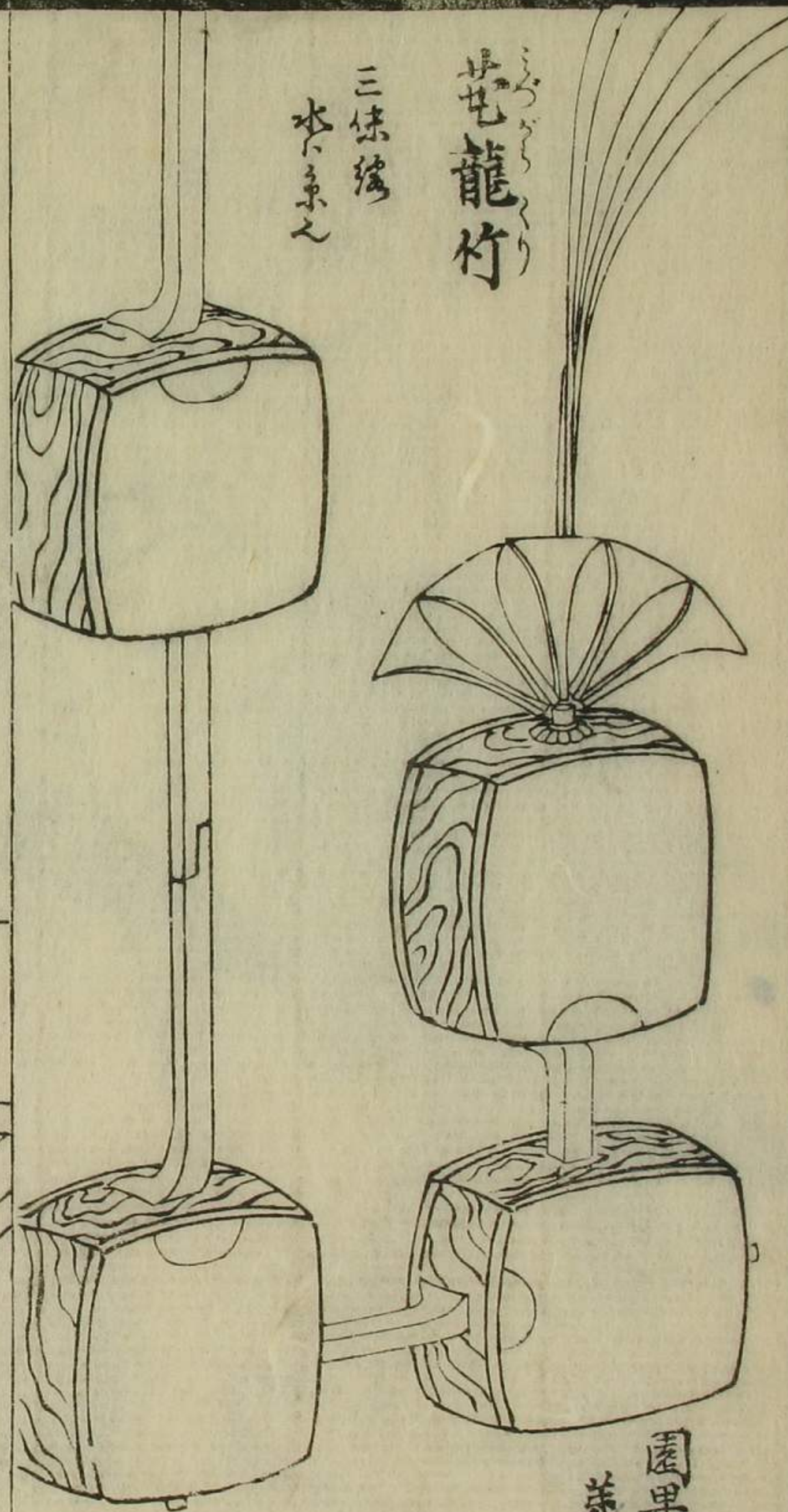
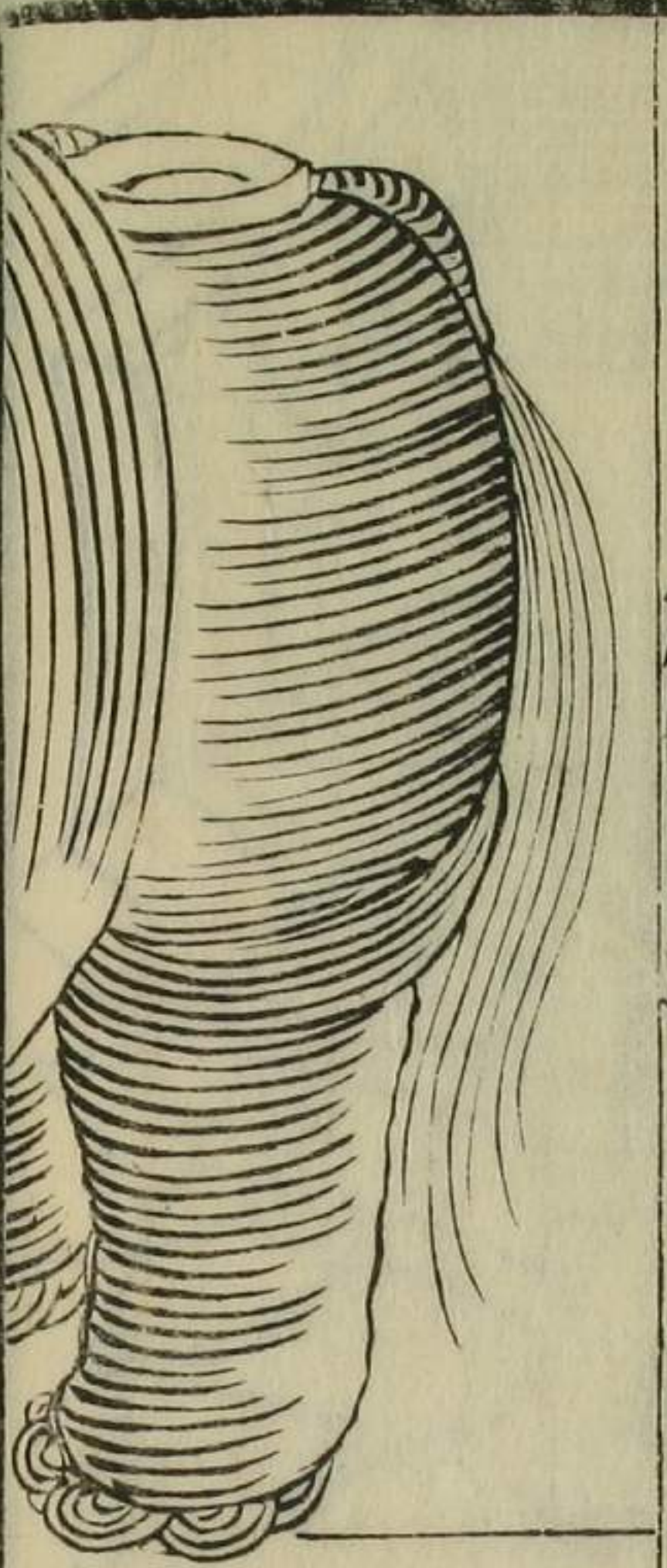
魚掛の桃灯
尾の桃灯
ひらひら
尾の桃灯
ひらひら

仙果亭 嘉栗作



義栗作

双美
くりの
元と
牛さ
ま
あ
また
挿す



三味線
本木
母龍竹

園果亭 義栗作

硯箱
荒物
一式

鞍馬之僧正坊 一式

傍正坊のかかり湯とて自らを髪にかけし御座り
 ありはうらましの入子とて衣にまねの事なほあり
 衣掛へ取よと著業のふとせしや
 け 宿うすまや 羽後うすま
 は おおのき

牛のあひの取め
 髪をわく抄子
 衣掛へ取よと著業のふとせしや
 け 宿うすまや 羽後うすま
 は おおのき



藍果亭
拾栗作

